

第191回筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会議事概要

1. 日 時 令和4年10月21日（水）15:35～17:45
2. 場 所 筑波大学附属病院けやきアネックス棟 217 T-CReDO 会議室
3. 出席者 土屋輝一郎、嶋田沙織、
(webより) 坂東裕子、土屋尚之、幸田幸直、溝口健作、中野潤子、
藤井輝、竹村幸恵

4. 議 事

(1) 前回議事要旨・概要の確認について

前回（第190回）議事要旨・概要は、原案通り承認された。

(2) 倫理審査申請書の審査について

①

整理番号	R04-088（再審査）
研究課題名	健康な早期新生児に対する非接触生体情報計測法の開発
研究種別	観察研究
研究責任者 委員会説明者	医学医療系 金澤悠喜
審査概要	修正事項について質疑応答がなされた
審査結果	承認

②

整理番号	R04-130
研究課題名	つくば市スマートシティ構想・病院前救護体制の効率化をめざした 情報共有システムの開発
研究種別	観察研究
研究責任者 委員会説明者	医学医療系 井上貴昭
審査概要	研究方法について質疑応答がなされた
審査結果	再審査

③

整理番号	R04-145
研究課題名	家族とともに考えるがん患者のアドバンス・ケア・プランニング介入に関する 混合研究法による実施可能性検証

研究種別	介入研究
研究責任者 委員会説明者	医学医療系 濱野淳
審査概要	研究方法について質疑応答がなされた
審査結果	再審査

④

整理番号	R04-135
研究課題名	新規バイオマーカーの長寿予測性の検討
研究種別	観察研究
研究責任者 委員会説明者	医学医療系 関谷元博
審査概要	研究方法について質疑応答がなされた
審査結果	再審査

⑤

整理番号	R04-016
研究課題名	胃疾患に対する外科的治療の有効性と安全性を評価する観察研究
研究種別	観察研究
研究責任者 委員会説明者	医学医療系 小田竜也
審査概要	研究方法について質疑応答がなされた
審査結果	承認

⑥

整理番号	R04-017
研究課題名	食道疾患に対する外科的治療の有効性と安全性を評価する観察研究
研究種別	観察研究
研究責任者 委員会説明者	医学医療系 小田竜也
審査概要	研究方法について質疑応答がなされた
審査結果	承認

⑦

整理番号	R04-140
研究課題名	眼科画像検査における画像鮮明化の有用性の検討
研究種別	観察研究

研究責任者 委員会説明者	医学医療系 村上智哉
審査概要	研究方法について質疑応答がなされた
審査結果	承認

(3) 重篤な有害事象に関する報告について

事務局から、資料4に基づき、本院主導研究の有害事象1件について報告があり、研究継続が承認された。

5. 報 告

(1) 迅速審査について

委員長から、資料5に基づき、迅速審査として承認された25件について報告があった。

〈新規申請〉

R04-144 神経変性疾患の発症、進行機構の解明

R04-156 心筋生検・剖検組織を用いた免疫チェックポイント阻害薬関連心筋炎の病態解明

R04-153 ホルモン受容体陽性HER2陰性乳癌局所領域再発の予後を評価する後方視的研究

R04-152 医学研究・研究者の評価のあり方についてのアンケート調査

R04-110 リンパ管腫に対する漢方療法の有用性の研究

R04-143 集中治療後の長期予後の現状と課題

R02-184 人工知能技術を用いた眼科手術の動画解析

R04-137 多施設大規模データベースを用いた免疫介在性疾患治療薬と重篤合併症発生リスク因子に関する探索研究

R04-155 局所進行鼻腔・副鼻腔癌に対する陽子線治療の有効性・安全性の評価

R04-122 深層学習を用いた画像誘導放射線治療時に取得される位置照合画像の高解像度化に関する研究

R04-024 脳SPECT画像の画質向上に関する深層学習研究

R04-165 循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究

R04-093 患者がん組織から樹立したオルガノイドを用いた研究

R04-108 綿形状吸収性人工骨の口腔領域使用による骨再生の促進に関する研究 ”

R04-160 「分娩後動脈性子宮出血」の疾患概念確立のための実態調査

R04-159 消化管過誤腫性腫瘍好発疾患群の全国疫学調査

R04-134 精液の疫学研究に利用可能な新規検査手法に関する多機関共同研究

その他、変更申請：8件

(2) 臨床研究〈継続・終了〉報告について

委員長から、資料6に基づき、前回の報告以降、継続：8件、終了：33件について報告があった旨

の説明があった。

(3) 次回は令和4年11月16日(水)に開催することとなった。

以上